

かけはし

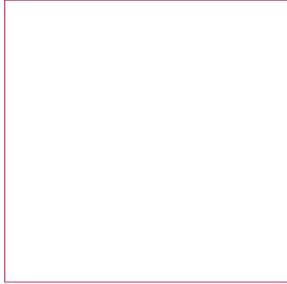
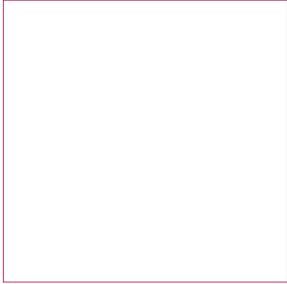
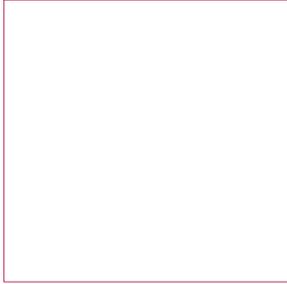
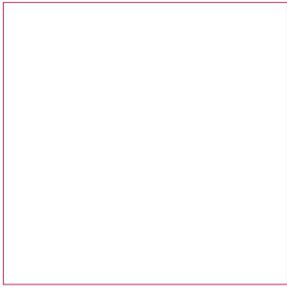
11

November

2014 vol.164

かけはしマネジメント対談

株式会社日吉



企業・強みの研究

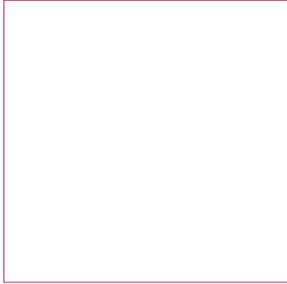
株式会社ReC Patisserie「プティドール」

企業・強みの研究

株式会社FUKUDA

地域が変わる—地域活性化の現場

大津【びわ湖大津灯りのまつり実行委員会】



BUSINESS TALK



ビジネストーク

オオバナミズキンバイ

頭取 大道 良夫

琵琶湖で最近、水草「オオバナミズキンバイ」(大花水金梅)が大量に繁茂し、母なる湖の生態系を脅かしています。北米南部から南米が原産地。琵琶湖では2009年に守山市赤野井湾で初めて確認され、142mの分布が昨年12月には推計約6万5千mに拡大。ちぎれても茎の断片から再生して4年で460倍にも増える猛烈な繁殖力から「侵略的外来種」と呼ばれます。今年6月、在来の生態系に害を及ぼす「特定外来生物」に指定されました。

琵琶湖では、水質を浄化し、魚の産卵場所として大切なヨシ群落への影響が特に心配です。ヨシ群落保全区域の赤野井湾付近では、オオバナミズキンバイがヨシの周りを埋め尽くして魚が産卵場のヨシ群落に近づけずに漁業被害が出ているほか、水質悪化や悪臭といった私たちの生活への影響なども懸念されています。

猛烈な繁茂を阻止する取り組みも始まっています。今年6月と9月、全国から集まったNPO法人・国際ボランティア学生協会(IVUSA)の学生600人、行政、環境団体、漁業組合、企業や地域の皆さんが除去に挑み、当行員も参加しました(活動の様子は、IVUSAの公式サイトで紹介されています)。オオバナミズキンバイは繁殖力が強い根こそぎ除去しなければならず、重労働ですが、9月15日から3日間で約120トンが除去されました。

私は9月15日、激励のために現場を訪れ、繁茂の猛

威を目の当たりにしました。産卵のためにヨシにたどり着こうとしながらも、びっしりと繁殖したオオバナミズキンバイに行く手を阻まれ、絡まって死んだ大量のニゴロブナの無残な姿にやりきれない思いでした。

そして、このような懸命の努力にもかかわらず、分布はすでに草津市の烏丸半島周辺や帰帆島付近、大津市では堅田周辺、疏水取水口や膳所公園周辺にも及び、日々拡大しているのです。

琵琶湖環境科学センターによりますと、オオバナミズキンバイ対策は、早期根絶と拡散防止のための封じ込めが大切です。しかも、除去後、確実に死滅させる必要があるため、個人としては許可証を持った団体等が行う除去作業を手伝うことが有効です。また、個人で手軽にできるのは「モニタリング」です。自分で区域を決めてオオバナミズキンバイの有無を定期的に監視し、発見したら写真に撮り、同センターに送付します。それらは、拡散状況の把握や県などの対応に役立てられるそうです。

「未来からの預かりもの」琵琶湖の環境保護のため、今後とも官民あげてオオバナミズキンバイ駆除活動が展開されますが、地域に根ざす企業として、個人として協力してまいります。

そして、何より忘れてならないのは、この厄介者も、もともとは観賞用の園芸種として流通していたという事実です。外国の動植物の、人災ともなりうる安易な持ち込みはくれぐれも気を付けたいものです。

「琵琶湖環境科学センター」〒520-0022 大津市柳が崎5-34 TEL 077-526-4800

CONTENTS

かけはし

vol.164 **11** November



滋賀銀行は、環境省認定の「エコ・ファースト企業」として、「環境経営」に取り組んでいます。

「環境金融」で低炭素社会へ



気候変動キャンペーン「Fun to Share」に賛同しています。

本誌「かけはし」は、<http://www.keibun.co.jp/>でもご覧いただけます。
※「かけはし」の名称は、(株)しがぎん経済文化センターが商標登録しています。
本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断複製(コピー)・複製(転載)を禁じます。

02 ビジネストーク
オオバナミズキンバイ

03 かけはしマネジメント対談
株式会社日吉
代表取締役社長 村田 弘司氏

07 企業・強みの研究
株式会社ReC
Patisserie「プティドール」

09 企業・強みの研究
株式会社FUKUDA

12 地域が変わる—地域活性化の現場
大津
びわ湖大津灯りのまつり実行委員会

14 アジア&ワールド
「ナカザワ」アジア市場への挑戦

16 アナリストレポート 県内景気天気図
緩やかな回復基調に足踏みの状況がみられ、全体に弱含み

18 ズームアップ 県内経済情報
5割以上の企業で不足感
(滋賀県内企業動向調査 特別項目)

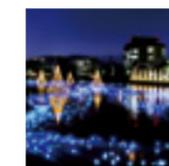
20 主要経済指標

21 イチ押し! pick up
有限会社満田製茶
「やぶぎた茶」と「伝統の在来茶」

21 ししがぎんトピックス
「しが農林漁業成長産業化ファンド」を設立
～地元金融機関と連携し6次産業化をサポート～

22 着眼大局
「グリーン・オーシャン」
常務取締役 林 一義

22 県内データあれこれ
産業別データ～平成24年経済センサス活動調査より～



常に「未来の兆し」に敏感に。
「はかる」「みる」「まもる」の3事業で
環境と共生する方法を探り続ける。



株式会社日吉
代表取締役社長 村田 弘司氏

▶ interviewer
頭取 大道 良夫
八幡支店長 西川 剛正

さまざまな環境の測定・分析、社会インフラの維持管理等の幅広い事業で、時代の社会ニーズに応じてきた日吉。バイオアッセイ（生物検定法）等の多様な「はかる」技術を駆使しながら、変化する環境との共生の道を探る。

社は「社会立社・技術立社」
時代とともに社会ニーズと向き合う

大道 ● 企業は社会に貢献しなければ存続できない。また、それを支える技術があつてはじめて社会に貢献できる。そんな気概が込められた「社会立社・技術立社」の社是を掲げ、「はかる」「みる」「まもる」の三つのカテゴリーで環境保全事業に取り組まれている日吉さん。湖国屈指の環境ソリューション企業です。

村田 ● 環境をめぐる概念は時代とともに変わってきました。当社が創業した1955年当時の大きな課題は、ゴミやし尿処理などの衛生問題。この社会ニーズに応えるため、ゴミし尿の収集運搬や浄化槽の維持管理を行いながら、ゴミ質の分析やし尿の臭気成分の分析などにも取り組みました。早期から「学術的に環境を見つめる視点」を持ち、それが日吉を育てる力になってきました。やがて公害が深刻化すると、当社の社会的役割はさらに大きくなり、総合的な環境調査コンサル



農業・シックハウス関連化学物質等を幅広く測定するGC/MS分析装置

テイング企業へ成長。常に「次の社会ニーズは何か」を考え、未来の兆しを見つめ続けてきました。

大道 ● わが国の環境意識は、公害の時代に比べると格段に高まった半面、地球温暖化の影響などによって激甚災害が暮らしを脅かすようになっていきます。

村田 ● 気候変動やさまざまな化学物質、微生物といかに共生するか。それが今後大きなテーマになるでしょう。

村田 ● 「はかる」は測定・分析関連事業です。大気や水、土壌の中の汚染物質を測る、製造現場やオフィスの環境を測る、食品中の栄養成分や残留農薬を測るなど広範囲にわたります。多様な検査技術を誇り、化学物質だけで800種以上、重金属を含めると千数百種の物質を分析できます。

多様な検査技術を駆使して
解決の糸口を見つけ出す

大道 ● 「みる」は上下水道施設や廃棄物処理場などの施設管理事業ですね。いつときも止めることができない社会インフラの健全な稼働を支えています。

村田 ● 主に各施設をモニタリングすることによって日常的な異常対応を行っています。近江八幡の沖に浮かぶ沖島おきまの下水道施設の維持管理を長年お任せいただい



下水道管路TVカメラ調査

いますが、高度なIT化を迎える前からデータ双方向通信の仕組みを築き、効率的な遠隔監視を実現しました。いかに高品質でコストのからない手法を提案できるかが「みる」分野のポイントです。最後の「まもる」は路面や側溝の清掃、廃棄物の収集運搬、工場やインフラ施設の維持管理などの環境保全事業。適切なコンディションを監視する「みる」とセットで総合的なサービスを行っています。他にも水処理に必要な工業薬品販売や下水管の補修工事、河川の浚渫工事しゅんせつといった一般建設工事まで手掛けています。

大道 ● 事業は極めて広範囲ですが、全ては「はかる」から始まるそうですね。

村田 ● 「はかる」ことでいろいろな問題が明らかになり、解決の糸口を見い出せます。当社にとって「はかる」ことは目的ではなく、問題解決をご提案するための手段。多様な検査技術を駆使して環境を測る、暮らしの安心を測る、生態系全体を測るなどあらゆるニーズにお応えして、問題の原因究明から解決までワンストップでご提案できるのが最大の強みです。そのため78の事業許認可、全社員で194種の資格を取得しています。

大道 ● 一人で複数の技能資格を持つ方も少なくないそうですね。ワンストップでの問題解決といえば、国道でのトラック横



株式会社日吉 代表取締役社長

村田 弘司氏
(むらたひろし)

1956年生まれ。79年、愛知工業大学工学部を卒業、有限会社日吉更生社(当時)に入社。取締役技術部長、専務取締役等を経て2007年、株式会社日吉代表取締役社長に就任。日本環境技術協会理事、滋賀バイオ産業推進機構理事、国際湖沼環境委員評議員、滋賀県環境保全協会副会長。

是社 社会立社 ・ 技術立社

会社は社会に貢献できなければ存続できない。
また、それを支える技術をもってはじめて社会に貢献できる。

会社概要

株式会社日吉

- 資本金/2,000万円
- 従業員数/280名
- 事業内容/環境測定・分析・研究の受託、材料・製品の性能等に関する試験・受託研究、環境保全・公害防止装置の設計・施工・維持管理、上下水道処理施設の工事・維持管理業、水処理薬品販売
- 本社所在地/近江八幡市北之庄町908
- URL/http://www.hiyoshi-es.co.jp/

プロフィール

- 1955年 創業
- 1958年 有限会社日吉更生社を設立
- 1960年 浄化槽維持管理など環境整備保全業務を開始
- 1994年 株式会社日吉に組織変更
- 2000年 米国XDS社と「ケイラックス」のライセンス契約を締結
- 2005年 「ケイラックス法」が環境省より公定法として指定
- 2007年 インドで「日吉環境大賞(日吉アワード)」創設
- 2010年 インド・チェンナイ市に「日吉インディア」を設立
- 2012年 中国浙江大学と「ケイラックス」の共同実験室設置を締結
- 2014年 経済産業省「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選定



「ダイオキシン類分析精製室」で、村田弘司社長からバイオアッセイ「ケイラックス」の説明を聞く大道頭取、西川支店長

す。常に社会のお役に立てるよう、検査技術のイノベーションに努めています。

生態への影響を包括的に調べる 画期的な測定法「バイオアッセイ」

大道●御社を特徴づける測定法に「バイオアッセイ(生物検定法)」があります。これまでの化学分析が個々の有害物質を測っていたのに対して、生物や生態系にどのような影響を与えるかを包括的に調べられる画期的な手法だとお聞きしています。

村田●おっしゃる通りです。バイオアッセイは、細胞などの生物材料を用いて生物反応を測定・分析して毒性を評価する測定法です。物質が不明でも毒性量があるか判断できる、化学分析では測定不可能な微量の物質の影響を総合的に評価できるといった特徴があります。最近、環境省がWETというバイオアッセイによる新しい排水管理手法の導入を検討しており、排水全体の毒性量を高精度に評価する手法として期待されています。当社でも、シジノコや藻類を使った研究を進めています。

大道●バイオアッセイの一つ「ケイラックス」は、御社が手がける化学物質分析法の中でも近年注目されていますね。

村田●ケイラックスは米国で発明された蛍光現象に関わる酵素を用いた技術で、現地企業と共同で日本向けに開発し

なのででしょうか？

村田●当社でお預かりする研修生も含めて多くの若者が海外で学んでいます。なかなか自国で根付きません。体制の構築や横への広がりが見えにくいですね。今後、世界で貢献するための鍵はそこへにありそうです。

大道●息の長い国際貢献が評価され、今年「がんばる中小企業・小規模事業者300社」(経済産業省)に選ばれました。日吉さんの熱いまなざしは地域にも注がれ、小学生から大学院生までを受け入れるインターンシップなど多様な地域貢献に取り組まれています。沖島では、外来魚を原料にしたベトナムのフードの開発や沖島マツタケの復興等を通じて地域活性化に力を注いでおられます。

たダイオキシン類の簡易測定法です。高い精度の分析が短時間で安価にできるとして98年に日本で初めて当社が導入。数多くの実績を重ね、2005年には環境省から国の公定法に認定されました。排出ガスや土壌、水質、食品などさまざまな測定に用いられています。化学物質などの環境因子が子供の成長や発達にどう影響するかを調べる「エコチル調査」(環境省)でも使われていますが、少量のサンプルで1兆分の1グラムという検出精度が求められ、ケイラックス以外では検出できません。

海外研修生を受け入れる中で 実践の場の必要性に気づく

大道●ケイラックスの他にも、滋賀県工業技術センターや長浜バイオ大学等と共同開発された「ビウアッセイ法」など、バイオアッセイの未来を開く研究に次々と挑まれています。その一方で、「環境問題に国境はない」との姿勢で国際貢献や国際協力にも注力され、国境を超えて事業フィールドを広げてこられました。

村田●83年の滋賀県と中国・湖南省の姉妹都市提携を機に、中国やインドなど約20カ国から延べ200名以上の研修生を受け入れ、また技術者の派遣も行ってきました。20年以上続けていますが、彼らが自国に戻っても学んだ技術を生かす場が

分析で本質を見極め 問題を解決して社会に貢献

村田●当社は創業時から地域での社会貢献や地域の活性化活動は当然と考えてきました。その一方で、国際化対策なしに今後の展開はあり得ません。インド以外にも研究や事業の拠点を広げるなどのグローバルアクションを積極的に進め、「次の時代」を見据えていきたいですね。現在、国内でWebによるオンライン水質検査を行っていますが、このクラウドコンピューティングを活用すれば、日本と海外拠点を結んだ新サービスも可能になります。

大道●気候変動など私たちを取り巻く

なく、なかなか現地の環境はよくなるらない。そこで、研修生たちが学んだ技術を実践できる場をつくらうと、2010年、インドのチェンナイに子会社「日吉インディア」を設立しました。

大道●設立後は市場調査と人材育成に時間をかけられたそうですね。

村田●今年に入り、環境測定や分析業務ができる態勢がようやく整いました。現地の日系企業からのニーズが多く、まずはそれに応えていきたいですね。一方、中国ではケイラックスの公定法化を目指した研究を浙江大学や中国国家環境分析測定センターと共同で進めています。公定法になれば、現地の環境測定事業者にも導入され、ケイラックスが中国市場で本格的に根づくことになるでしょう。



オンラインでの水質検査にクラウドコンピューティング用サーバーを活用

環境変化といかに共生するか。それが今後のテーマだとおっしゃいました。

村田●抗菌薬の進化に対抗して耐性を強める病原微生物との共生も、「環境との共生」の一つです。強くなるバクテリアに対して、当社ではバクテリアを食べるバクテリオファージの応用を研究中です。私たちが取り巻く環境はミクロの視点、マクロの視点ともに変わり続けています。その変化からいかに「未来の兆し」を見つけるか。当社は測り、本質を見極め、問題解決に結びつけることで社会に貢献し続けたいと考えています。

大道●環境と共生できない事業に持続性はないことを、改めて考えさせられました。本日はありがとうございました。

地域貢献、国際貢献へ 熱いまなざしを注ぐ

大道●世界遺産指定地区ながら、工業化の進展で水質が悪化しつつあるベトナムハイフォン市のカットバ島。その水環境改善を目的としたJICA(国際協力機構)の草の根技術協力事業に採択されたそうです。村田●当社の役割は、採択された滋賀県の実施団体として、水質分析を通して汚染の実態を見える形にし、対策モデルの構築を支援すること。その先の継続や発展は現地に委ねることになりますが、技術の定着だけでなく環境への意識を変えていくというのは簡単なことではないと思います。

西川●やはり、法律で規制しないとダメ

野洲で人気のケーキ・洋菓子店が挑む

地域を元気にする「魅力の拠点」づくり。

スポット

季節感と彩りに工夫を凝らし

こだわりのケーキや焼き菓子を創作

チャペルのような外観、倉庫風の内装。野洲駅北口から徒歩で8分、守山方面に向かう県道2号線沿いに9月27日、お洒落なカフェ+ダイニング「LOOP」がオープンした。新たな複合商業施設「プチプレース」の中核店舗だ。ループではイタリアンをベースにした創作洋風料理が楽しめる。パティスリースペースとして90人規模の利用も可能で、いま地元の関心を集めている。

「プチプレース」をプロデュースしたのは、隣接するPatisserie(パティスリー)「プチドール」。熱心なファンが多い、県内でも指折りの人気店だ。フルーツを使ったケーキやモンブラン、チーズを使ったフロマージュなどの生ケーキ、ガレットやクッキーなどの焼き菓子。プチドールのお菓子には独自の工夫が凝らされている。

「特にこだわるのは季節感。1年を6シーズンに分け、苺のケーキやモンブランなどの定番商品以外はシーズンごとに新商品を創作します。秋には栗や洋梨など季節の果実を使い、夏には清涼

感のあるゼリーやムース菓子を打ち出すなど、いつ訪れても新しい発見でいっぱいのお店を目指しています。見た目にもこだわり、赤や黄色、キツネ

色の焼き色など食欲をそそる色彩で演出。形はやや小ぶりにまとめ繊細な雰囲気仕上げてます。プチドールのオーナーパティシエであり、同店を運営する株式会社ReCの代表者でもある宿谷正和社長はこう話す。

甘さと脂肪分を抑えた生クリームで顧客の嗜好を先取りして成長

創業は1984年。公務員だった宿谷社長が「地元にもおいしいケーキ店を」と、この道に飛び込み、32歳で初めての店舗を野洲市内のテナントビルに構えた。5年後の89年、独立店舗を新築。現在地に新築移転したのは創業20周年となる2004年だ。いずれの店舗も県道2号線沿いに立地した。「最初の店舗がプチドールの播磨期、次の店舗での15年間で成長期、現在が成熟期と位置づけられるかもしれない。当店独自の試みは成長期の時代に始めたものがほとんどです」。



季節を感じる、色彩豊かな生ケーキ。店の奥には26席の喫茶スペースも

その一つが低甘味・低脂肪の生クリームの使用。甘さと脂肪分を極限まで抑えた独自ブレンドの生クリームが、「プチドールのケーキは優しい甘さでいくらでも食べられる」と人気の源泉だ。

果糖やトレハロースなどを用いて砂糖をできる限り少量にしたケーキも早くから手がけてきた。どちらも宿谷社長が強い甘さが苦手だったことから始めたが、購買客の成熟した嗜好感や健康志向を先取りした形となった。

また、卵や小麦粉を使わないノンアレルギーケーキを作り始めたのは、小麦アレルギーの顧客への心遣いからだ。食用の紙やインクを使った「食べられる写真」が登場すると、家族の写真やケーキに転写するサービスをベースデーケーキに採用し人気を集めた。「どうすればお客さまに喜ばれるか、そこに意識を凝らしながら、パティシエの感性で洋菓子を作る。このバランスを維持する



焼き菓子コーナーのニンジンを使った「祇王姫」や「焼きたてドーナツ」はちょっとした土産に人気

ことを心がけています」。

野洲の地域おこしにも一役

「祇王姫」「焼きたてドーナツ」

現在の1カ月の来店客は約5千人。目立つ場所に広い店舗を構えたことで、以前に比べ来店客は5割増え、売り上げも倍増した。「順調に推移しているが、カード会員客のリピート需要に力を入れたい。また、生菓子主体の売上構成も課題の一つで、お土産やギフトの需要を取り込む焼菓子の比率をもっと増やしたい」。この戦略を推進するため、宿谷社長は10年前から、魅力ある焼菓子の創作に挑んできた。その一つが、野洲のシンボル三上山の麓で有機栽培され、βカロチンが豊富なニンジンを使った「祇王姫」だ。

「野洲を象徴する郷土銘菓を目指し、平家物語で名高い祇王伝説と三上山麓の付加価値の



新設された複合商業施設「プチプレース」の中核店舗カフェ+ダイニング「LOOP」

高い野菜を組み合わせ、当店流の上品な焼き菓子に仕上げました。この祇王姫の試作を重ねるなか、ニンジン本来の風味や栄養素を損なわず粉末にする減圧乾燥法に出合いました。岐阜の業者が開発したこの技術が新たな展開をもたらしてくれたのです」。

また、地元の伝統行事で奉納される「たて(蓼)ずし」にちなみ、野洲市は「たて」による地域おこしを進めている。たてを多様な食品へ展開する取り組みに、宿谷社長が持つ乾燥粉末を使うノウハウがヒントになった。うどんの生地や餅に乾燥粉末のたてを練り込んだ「たてうどん」や「たてもち」が生まれ、プチドールでも「焼きたてドーナツ」の創作につながった。このドーナツはたでの辛味がアクセントとなり新鮮だと、昨秋の発売以来、着実に人気が高まり、今では月に1200個も売れるヒット商品に成長した。

野洲のにぎわい創出を目指す複合施設「プチプレース」

「当店を育てていただいた地元への恩返しを常に心掛けています。郷土の銘菓づくりもその一つ。さらに今年には創業30周年の節目でもあり、当店の隣りに複合商業施設「プチプレース」を新設し、野洲の新たなにぎわい発信源に育てるプランを進めています。冒頭で紹介したカフェ+ダイニング「ループ」を中核に、ヘアサロンやベーカリーなど女性を意識したテナントミックスをプロデュースする。野洲の新しい魅力拠点を目指す動きが始まった。

※たて(蓼)／葉や茎に特有の香りと辛みを持ち、薬味や刺身のつまなどに用いられる

Voice 代表取締役 宿谷 正和氏

この秋、当社プロデュースの複合施設「プチプレース」が誕生。直営の「プチドール」、カフェ+ダイニング「LOOP」と、ベーカリーショップなどテナントとのシナジー効果で新しい「野洲のにぎわい拠点」を育てていきます。



Profile 株式会社ReC Patisserie「プチドール」

<http://www.petit-doll.com/>



- 本社/野洲市久野部21-7
- 設立/2010年
- 資本金/500万円
- 従業員数/13名
- 事業内容/パティスリー「プチドール」、カフェ+ダイニング「LOOP」、複合施設「プチプレース」の企画運営

「プラス・ワン・モア」を合言葉に エンジンオイルの中間流通市場で個性を発揮する。

環境にやさしく容器代もコストダウン 大好評の「IBCローリーサービス」

「エンジンオイルの配送容器を再利用可能なものに」。この発想で株式会社FUKUDAが取り組む「IBCローリーサービス」が好評だ。石油元売り会社やオイルメーカーから仕入れたエンジンオイルを、近畿各地の約3千軒のカーディーラーや自動車修理工場等へ販売する中間流通が同社の役割。以前はドラム缶やペール缶で届けていたが、3年前、一部商品の配送を薬剤輸送などに使われる「IBCタンク」に変更した。

京都市山科区の本社に製造元のタンクローリーが到着すると、オイルをIBCタンクへ移し替え、専用のローリー車に載せて販売先へ配送する。先方には同社が提供した専用のオイルタンクがあり、そこに注入すれば納品は完了。再利用が難しいドラム缶と違い、IBCタンクは何度でも使える。

「鉄の高騰でドラム缶価格が高くなったのを機に、再利用可能な容器を導入した。廃棄物を減らして循環型社会にも対応でき、重いドラム

缶を運ぶ負担も減る。これまでオイル代に含まれていた容器代をコストダウンできるメリットも大きい」と福田喜之社長は話す。

このサービスは2012年、自動車向けエンジンオイルで初のエコマーク認定を取得。エコカー利用者が増える中で、環境意識の高いドライバーへもアピールしている。

「売り切るまでお手伝いする」 地域密着型の営業スタイル

ローリー車に描かれた「Plus One More (プラスワン・モア)」のロゴ。「お客さまにプラスになることを、毎日一つプラスになることを」という同社の精神が込められた合言葉だ。これは、競争が激しく差異化も図りにくいエンジンオイルの中間流通市場で一歩抜きん出たための戦略でもある。

エンジンオイルの流通経路は複雑だが、大きく分けると「エンドユーザーへ直販する石油小売系」と「カーショップやホームセンター等の卸売系」の二つになり、同社は卸売系に属する。「エンジンオイルをあまり使わないハイブリッド車や全く使わない電気自動車の普及、国内自動車販売



合言葉「Plus One More」が描かれたIBCローリーサービスの専用車

福田社長が15年前前に経営を引き継いだとき、会社としての強みがないことに危機感を抱いた。そこで販売先をカーショップ等の量販店から、自動車修理工場やバイク店を対象にした「地域密着型」の営業へシフトする大胆な改革を行った。

特に注力したのはカーディーラー。販売実績はほぼゼロだったが、「ディーラーにとってエンジンオイルはサブの商品だが、販売意欲を後押しできれば伸びしろは大きい」と考えた。販売店の特徴に合わせて、価格表や商品POP(ポップ、店頭販促物)類の無料提供、商品勉強会の開催など、現場目線の販売支援サービスを実施した。

「卸した商品を最終的に売り切るまでお手伝いする」独自の営業スタイルを確立したことで取引先は増え、今では売り上げの9割を占めるま

でになった。「もちろん量販店の方が量は多く売れる。一方、自動車修理工場やディーラーでの販売はきめ細かな対応が必要になるが、その分やり甲斐を感じられる」。

強みは保管・配送・廃油回収を ワンストップでできること

08年には運送業と産業廃棄物収集運搬の認可を取得。さらに2カ月分の販売量を保管できる危険物倉庫も本社に設置したことで、従来は複数業者がそれぞれ分担していた「保管、配送、使用後の缶や廃油の回収・廃棄」を1社でやれるようになった。「これも『プラスワン・モア』への挑戦の一環だ。ワンストップ化で得た強みをさらに突き詰め、当社ならではの特徴ある配送を考え



第4類第3及び第4石油類危険物貯蔵所許可を取得した本社倉庫



IBCローリーサービス車両でオイルタンクへエンジンオイルを給油の様子

た結果、IBCローリーサービスが誕生した」。現在、売れ筋オイルの上位4商品を対象に展開するIBCローリーサービスの供給先は約300社、売り上げの2割を占める。3年後には45%にまで高めたいと考えている。

ローリー車も進化を続けている。ポンプの駆動電力確保のため、給油時にはアイドリング状態を維持しなければならなかったが、最近になって急速充電器を搭載した車両を導入。エンジンを停めて給油できるようになった。「これは同じ京都府内でタイヤ販売を営む企業と共同開発した新機能。13年に京都商工会議所「知恵ビジネスフランコンテスト」の認定プランに共に選ばれたことが縁で実現できた」。

工業用オイルの交換サービスという 新たな市場を開拓する

実は、IBCローリーサービスが予想もしなかった次の市場へ同社を導き始めている。工業用オイルの販路開拓をしているとき、「プレス機等の作動オイルの交換がローリー車1台で可能になる」という新たなビジネスチャンスに気づいたのだ。「ものづくりの現場では、オイルの配送・交換・廃油回収を別々の業者に依頼しているが、当社ならワンストップでできる。機械を止める時間が短くなりお客さまにとって大きなメリットだ。車ごと工場内に入っても、アイドリングストップすれば排気ガスを出すこともない」。

これも常に「プラスワン・モア」に挑み続けなければ、生まれなかったチャンスだ。

Voice 代表取締役社長 福田 喜之 氏

工作機械等のオイル漏れを防ぐ特殊配合の油圧作動オイルも取り扱っています。
ものづくり現場でのオイル供給と廃油回収を効率化する
ローリー車1台でのワンストップサービスにチャレンジしています。

Profile 株式会社FUKUDA



- 本社/京都市山科区大宅向山6
- 設立/1976年
- 資本金/1,000万円
- 従業員数/20名
- 事業内容/自動車エンジンオイルの販売およびそれに付帯する一切の業務

<http://www.fukuda-lub.co.jp/>

地域が変わる

地域活性化の現場

大津

©びわ湖大津灯りのまつり実行委員会

市民による手作りの灯りのまつり 歴史と伝統の街、湖都・大津の魅力を照らし出す



湖上に映えるツリー型イルミネーション「アクアツリー」

大津市の玄関口、JR大津駅から琵琶湖岸へと広がる中心市街地は、交通の変化や大型店の郊外進出などにより、存在感の低下に悩まされてきた。そんな中、市民有志らが街の元気を取り戻そうと立ち上がった。今年もクリスマスまで開催中の「灯りのまつり」で、街の魅力を発信し賑わいの創出に奮闘している。

4つの灯りのエリアを巡り 情趣ある街歩きを

JR大津駅から琵琶湖岸の大津港、なぎさ公園に至る大津市中心部の街角は、夕暮れを迎えるときさまざまな意匠を凝らした灯りに彩られ、情趣にあふれた特別な空間に生まれ変わる。「灯りdeおもてなし」をテーマに「びわ湖大津灯りのまつり 2014」が9月中旬から12月25日まで開かれているのだ。

湖上交通の拠点、東海道の宿場町

として発展した大津の町は、かつて「大津百町」と呼ばれるほどの賑わいを誇った。「びわ湖大津灯りのまつり」は、この旧百町を含む中心市街地と大津港周辺地域の賑わいの再生を目的に行われているイベントだ。大津駅前広場と中央大通りからなる「やまてエリア」、大津祭の曳山を出す町内を中心にした「まちなかエリア」、湖岸のなぎさ公園おまつり広場を会場とする「みずべエリア」、なぎさ公園打出の森の「なぎさエリア」の4つのエリア会場を設け

ている。それぞれ「えきまえ光のアプローチ」「まちなか灯りのアート」「みずべのかがり火」「なぎさ光の森」とテーマに応じた特徴的な灯りの演出、そしてマルシェなどの食関連の催しやコンサートなどが行われる。

4エリアの先陣を切って、9月16日から10月12日まで開催された「まちなか灯りのアート」の場合は、大津祭の曳山にちなんだ絵柄をあしらった創作灯りが町家の軒先に飾られた。市民が木と和紙で作った手作りの灯りだ。大津祭に

向けて稽古するお囃子が聞こえる中、昔ながらの町家が残る町内を、やさしい灯りを辿って歩けば、往時の大津百町にタイムスリップする気分が味わえる。

クリスマス期に賑わいを 有志の試みが風物詩に

「びわ湖大津灯りのまつり」のルーツは2001年、大津青年会議所の若手会員有志が中心になり、市の援助を得て、湖岸で小規模なイルミネーションイベントを開いたことにさかのぼる。今ではクリスマスシーズンの風物詩ともなった、琵琶湖に浮かぶイルミネーション「アクアツリー」もこのときに生まれた産物だ。その後、灯りのまつりは規模と参加者を拡大し、年ごとに新しい試みを取り入れ、名称を何度か変えながら継続されてきた。07年からは、地元市民グループや協力企業、商工会議所などの代表で構成する実行委員会を毎回組織して運営するようになり、08年からは大津市中心市街地活性化基本計画に基づく事業として位置づけられた。

今年の実行委員会の委員長、山本進一氏は、灯りのまつりが始まった当初から中心となり、推進してきた人物だ。「春は桜、秋には紅葉のライトアップ、夏は花火大会があるが、冬の天津を盛り上げるものがなかった。本来は歳末商戦で賑わうこの時期をなんとか華やいだものにしたいと始めた」と振り返る。



手作りの立体オブジェ「とと灯り」



まちなかでの灯りの展示

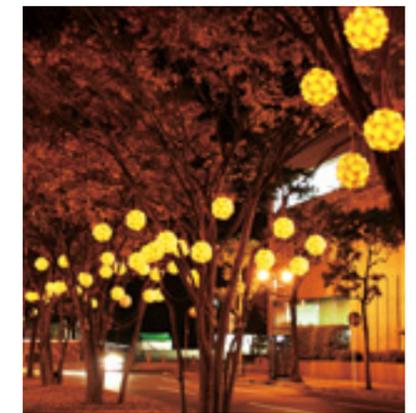
湖上の灯りも電源も手作り 学生たちの若い力も支えに

神戸ルミナリエ、OSAKA光のルネッサンスなど、各地に街を灯りやイルミネーションで飾るイベントはあるが、「大津の灯りのまつり」の大きな特徴は市民が参加する手作りのイベントであることだ。

「スタッフは全員ボランティア。イルミネーションの企画製作から、設置、会期終了までのメンテナンスまで全て自分たちで行う。環境に配慮して、白熱電球をLED電球に徐々に交換し、太陽光パネルを使った電源装置を作製した」と山本委員長は明かす。

街の賑わいをつくりたいという取り組みは共感を呼び、市民の参加・支援の輪は年々自然に広がってきた。例えば、まちなかを彩る魚の形をした灯りの立体オブジェ「とと灯り」は、主婦や飲食

店のおかみさんが参加したワークショップを開き、灯りのアート作りを学んだことで、完成度の高いものができるようになった。成安造形大学、滋賀県立大学などの学生たちの若い力も大きな支え



学生たちがデザインした灯りの果実

になっている。

また、灯りのイベントを行う各地の組織との交流も広がっている。11年には「全国あかりサミットin大津」を開催した。今年も祭り期間中に、関西の灯りのイベント関係者でつくる「関西・光ネットワーク」の会議が予定されている。

大津の街にしかない魅力発信 訪れた人の喜ぶ顔に感動

しかし、ボランティアによる運営ゆえの悩みも少なくない。資金不足や広報の充実だ。

「今年は広報部会を設置してPRに力を入れたが、もっと認知度を高めなくてはいけない。企業などからの協賛も増やしたい。大津祭の本祭前のまちなかの灯りも、クリスマス前の水辺の幻想的な灯りも、一度お越しいただければきっと満足していただけるはず」と話すのは松崎悦子広報部会長。

「琵琶湖とまちなかの伝統と歴史など、大津にしかないものを生かすことで、地域間競争に負けない魅力を発信していきたい。たくさんの来た人に喜んでいただければ、嬉しい。その感動のために、できるかぎりのことをしたい。みんなで楽しみながら取り組むプロセスがあって、地域の人間関係もつくり、ひいては街の活性化につながれるのだと思う」と山本委員長は大津の未来に思いをはせる。

「ナカザワ」アジア市場への挑戦

texted by 滋賀銀行 バンコク駐在員事務所長 河村 正弘

滋賀県湖南市に本社を置く時計・眼鏡販売の「ナカザワ」。日本全国に80店を展開する同社が、ベトナム・ホーチミンを手始めに、中国・蘇州、カンボジア・プノンペンに時計専門店「Time Station NEO Japan」を出店、海外展開を加速する。「おもてなし」でアジア市場に挑戦する同社の取り組みをレポートする。



丁寧な商品説明が富裕層に好評だ。販売だけでなく電池交換等のアフターフォローにも力を入れている(ホーチミン1号店)

住みやすい都市 香港はアジア3位

英経済紙「エコノミスト」の調査部門が8月19日に発表した「世界の住みやすい都市」ランキングで、香港は世界31位と、アジア地域の中では東京、大阪に次いで3位に入った。本調査は世界の主要140都市を対象に、①社会の安定度②医療③文化・環境④教育⑤インフラの5項目を100点満点で評価したものである。

世界的に香港は移住先として人気が高い。公共交通インフラが整備され、地下鉄、路線バス、トラム(路面電車)が数分間隔で運行。和食店が多く、お酒もアルコール度数が30%未満であれば酒税がかからないので日本よりも安く手に入れることができる。また国際的にみて犯罪率はとても低く、総じて治安は良い。日本人が生活するにも不便や不安を感じることは少ないだろう。

一方で生活コストは高い。米マーサー社の2014年都市別物価調査によると、香港は海外駐在員にとって世界で3番目に物価の高い都市とされている。原因の一つといえるのが、テナント・住宅家賃の高騰である。香港の総面積の約75%は緑地であり、その約半分は自然保護区に指定されている。人口に対し、ビジネス街や住宅地として利用できる面積が狭いことが高い賃料の原因となっており、それが物価にも反映している。

とはいえ、マイナス要素が生活コスト以外あまりないのが香港。自然災害は台風のみといってもいいぐらいであり、地震もない。四季があり、海や山に囲まれて自然も多い。私も3カ月間、短期研修生として香港での生活を経験したが、とても過ごしやすい都市だと感じた。日本人ならなじみ深い「そごう」や「イオン」も進出しており、日本のモノもすぐに手に入れることができる。海外であって、あまり海外と感じない香港は、今後も住みやすい都市であり続けるだろう。

(しがぎんアジア月報10月号より 前香港支店短期研修生 田中 徹)



テナント賃料が最も高い銅鑼灣駅周辺

カンボジア1号店

2014年6月、イオンモールがカンボジア1号店を首都プノンペンにオープンした。カンボジアは、一人当たりGDPが1,016ドル(約11万円、IMF推計値)、東南アジアではミャンマーに次いで低く、購買力が高いとはいえない。また人口は1,470万人と日本の約10分の1しかない小国であり、市場が大きいわけでもない。このような国に日本の大手流通企業が進出した理由は二つ考えられる。一つ目は、カンボジア人口の40%は15歳未満の若年層であり、これから購買層の拡大が見込まれること、二つ目がASEANを単一市場と捉えた際のプノンペンの地理的優位性である。タイ・バンコクからプノンペンを経由しベトナム・ホーチミンを結ぶ南部経済回廊。バンコク～プノンペン間を約700km、プノンペン～ホーチミン間は約300kmで結ぶ

この経済回廊は3カ国の大都市を繋ぐため消費回廊ともいわれる。その中間にあるプノンペンに進出することで、この経済回廊を活用したドミナント戦略が可能となる。

ナカザワは、このイオンモールのカンボジア1号店に出店した。同社の海外戦略は明確で、イオンモール内への出店を基本とし長期的な視野で取り組むことである。カンボジアへの進出は、その戦略の象徴である。中澤社長はカンボジア出店に際し「3年間の赤字を覚悟で決断した」と語る。

「おもてなし」が武器

今年1月1日にオープンしたベトナム・ホーチミン1号店がナカザワの海外初店舗となった。取扱商品である日本ブランドの時計は、すでにアジア各国で販売されており目新しさは少ない。ベトナムでも現地の販売代理店が流通させている中、

同社が差別化の柱としたのが接客である。商品を雑然と並べているだけの地元店が多い中、日本の店舗と同じように、顧客の入退店時のあいさつや、商品を両手で渡すなどを徹底している。商品説明や包装、電池交換にも力を入れる。これまで日本の接客に触れたことがない現地社員を日本に派遣し、接客技術と来店客への細やかな気遣いを教え込んだ。

ホーチミン1号店はオープン前、市内中心地から離れた立地であったため、売り上げ確保は厳しいといわれていた。しかしオープン以来、販売は順調に推移し目標を上回る業績を計上している。日本の商品と接客がベトナムの人々の心を捉えているためだ。

先駆の苦勞

ナカザワの「Time Station NEO Japan」は、日本の「おもてなし」の先駆者として、各

国で来店客に感動を与えている。一方で先駆者ゆえに乗り越えなければならない苦労も多い。多くの国では、製造業の進出は雇用を生み技術移転があるため歓迎されている。しかし小売業やサービス業に対しては、国内産業保護のため、厳しい規制がある。ベトナムでの現地法人設立の申請にあたっては手続きが遅延として進まず、当局のトップに掛け合い、知識とメンテナンスの技術を有する時計専門店の必要性を訴え、ようやく手続きが間に合った。

商品の仕入も思うようにはいかない。各メーカーが契約する現地代理店から商品を仕入れるが、その代理店が小売りも行う場合がある。代理店の自社店舗と商圏が競合すると、代理店が商品を供給しないということもある。またカンボジアでは正規契約している現地代理店がないケースがあり、そのメーカーの商品はシンガポールから直接輸入をしなければならない。輸入にかかる費用は同社が負担しなければならない。利益はほとんど確保できない。地道に販売実績を上げ、メーカーに流通経路を確立するよう促すしかない。

現地化

これまで海外に1店舗もなかった企業が、今年1年間で一気に3カ国3店

舗(10月末現在)を持つことになった。これからも海外の店舗数が増加すれば本社でのコントロールは難しくなる。また各国で売れ筋商品や販売促進の方法も違う中、日本本社主導での展開には限界がある。中澤社長は「現地化」を次の目標に設定している。各店舗の現地スタッフが現場で判断をする一方で、ナカザワのコアコンピタンスである接客の質をどの国でも一定水準に保つよう教育に注力する。現地に溶け込み、日本の時計を「おもてなし」の接客でアジアの消費者に届ける、ナカザワのアジア市場への挑戦は続く。



カンボジア社員にラッピングを指導(プノンペン1号店)



左から、現地社員が浴衣姿で接客(ホーチミン1号店)、商品を両手で手渡す日本式おもてなし(蘇州呉中店)



会社概要

▶株式会社ナカザワ

- 所在地/滋賀県湖南市中央2丁目92番地
- 代表者/代表取締役 中澤 実任盛
- 設立/1986年5月
- 資本金/5,000万円
- 事業内容/メガネ・時計・宝石・コンタクトレンズの販売
- URL/http://nakazawa-group.co.jp/

2014年1月にベトナム・ホーチミン、4月に中国・蘇州、6月にカンボジアの首都プノンペンと、計3店舗を相次ぎ出店(2014年10月末現在)

緩やかな回復基調に足踏みの状況が みられ、全体に弱含み



西明寺／犬上郡甲良町

県内景気の動向

現状 県内製造業の生産活動の現状を鉱工業生産指数でみると、前月に比べ電気機械や輸送機械などで大きく低下したが、水準は電気機械やはん用・生産用・業務用機械、食料品などで引き続き高いため、原指数は10か月連続のプラス、季節調整済指数も2か月ぶりのプラスとなった。しかし、季節調整済指数の3か月移動平均値は4か月連続のマイナスとなり、弱含みで推移している。また、出荷と製品在庫の状況を見ると、引き続き意図せざる在庫増加局面にある。

需要面では、大型店売上高はウエイトの高い飲食料品が堅調に推移し、他の品目も消費増税以来のプラスになったり、マイナス幅が縮小したため、全店ベース、既存店ベースともに前月に続きプラスとなっていることが前向きな動きとしてみられるが、他の項目では引き続き厳しいものやここにきて伸び悩みがみられるものが出てきた。まず、民間設備投資の指標である民間非居住用建築着工床面積の3業用計は2か月連続の大幅マイナスとなり、新設住宅着工戸数も貸家は好調が続いているものの、持家と分譲住宅が伸び悩み、全体では前月に続き前年を下回った。また、乗用車とトラックの新車登録台数も2か月連続のマイナスとなり、さらに今まで好調に推移していた軽乗用車が13か月ぶりのマイナス、公共工事の請負件数は7か月ぶり、金額も8か月ぶりのそれぞれマイナスとなった。また、雇用情勢は新規求人倍率、有効求人倍率がともにやや低下ないし横ばいにどまり、製造業の所定外労働時間時間指数は16か月ぶりに前年を下回った。

これらの状況をまとめると、製造業の生産活動は増

産の動きがみられる業種もあるが、全体的に在庫調整が長引いているものと考えられ、弱含みで推移している。また需要面では、大型店売上高で消費増税に伴う反動減の影響が薄れてきたため比較的堅調に推移しているが、他のほとんどの項目ではその影響が長引いているものやここにきて消費増税の悪影響が懸念されるものがでてきた。したがって県内景気の現状は、反動減や増税の影響により、緩やかな回復基調に足踏みの状況がみられ、全体に弱含みで推移していると考えられる。

今後の動向 県内製造業の生産活動については、海外需要は米国景気の本格的な回復期待に支えられ引き続き堅調に推移するとみられるが、国内需要は反動減に加え消費増税の影響が出ているため、在庫調整が長引き、弱含みの動きが続くものと考えられる。

需要面では、個人消費については、消費増税に加え光熱費や物価の上昇といったマイナス要因から消費マインドは引き続き厳しいと考えられるが、食料品や日用品などの最寄品を中心に底堅く推移するものとみられる。一方、乗用車や家電品などの耐久消費財、新設住宅着工、民間設備投資などの投資関連需要は、反動減に加え、消費増税の影響がみられ、回復に向けての足取りは重いと考えられる。

したがって今後の県内景気は、生産活動面では在庫調整が長引き、引き続き弱含みで推移するものとみられ、需要面では一部を除きほとんどの項目で厳しい状態が今しばらくは続くものと考えられるため、全体的には現状の足踏み状態から下振れする可能性もあると思われる。

「大型店売上高」は前月に続き両ベースともにプラス

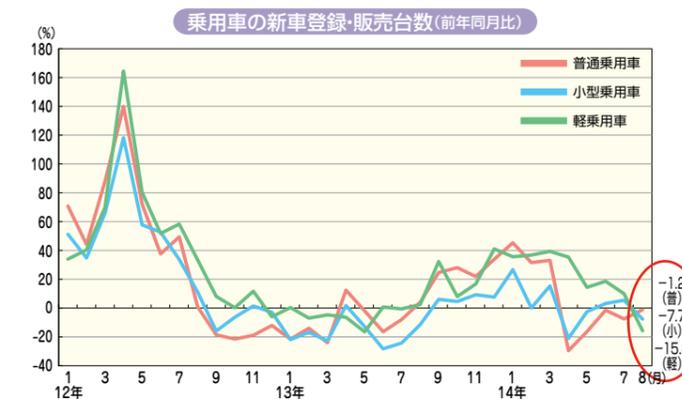
2014年8月の「消費者物価指数(生鮮食品を除く総合/大津市/2010年=100)」は前月と同じ102.8で、前年同月比+2.9%、前月比0.0%となり、前年比では16か月連続のプラスとなっている。費目別にみると、エネルギー(電気代、ガス、灯油、ガソリン)の上昇は前月に比べるとやや低下したものの高水準が続いている(前年同月比+6.3%、前月比-0.2%)ことに加え、消費増税の影響からほとんどの品目で上昇し、なかでも菓子類や調理食品、交通、教養娯楽サービスなどが大きく上昇したためとみられる。

「可処分所得(同)」は11か月連続のプラスとなり(前年同月比+28.0%)、「家計消費支出(同)」は4か月連続のプラスとなっている(同+15.0%)。品目別にみると、家庭用耐久財や住宅設備の修繕・維持のための工事、教養娯楽用耐久財、同用品などの費用は前年比大幅のマイナスとなったものの、魚介類や肉類、外食をはじめとする食料、履物類、月謝類、理美容サービス、交際費などが大きく前年を上回った。

このような所得・消費環境のなか、消費増税後5か月目となる8月の「大型店売上高(全店ベース=店舗調整前、対象店舗数は100店舗、前年は94店舗)」は+5.9%となり、堅調に推移している。品目別にみると、「衣料品」(同-6.1%→同-3.4%)や「家庭用品」(同-4.7%→同-2.9%)などは引き続き前年を下回っているが、減少幅は縮小し、ウエイトの高い「飲食料品」が15か月連続で増加し、全体をけん引し(同+8.0%)、さらに「身の回り品」(同+7.5%)と「家電機器」(同+0.2%)は5か月ぶりのプラスとなった。また、「既存店ベース(=店舗調整後)」の売上高は「飲食料品」が15か月連続のプラス(同+3.3%)となっているのに加え、「身の回り品」が5か月ぶりのプラスとなり、また「衣料品」や「家電機器」「家庭用品」などでマイナス幅が縮小したため、全体では2か月連続のプラスとなった(同+1.9%)。消費増税の影響は、飲食料品が全体をけん引していることに加え、他の品目でプラスに転じたり、マイナス幅が縮小するなど、少しずつ和らぎはじめており、持ち直しの動きがみられる。今後の動向を注視する必要がある。



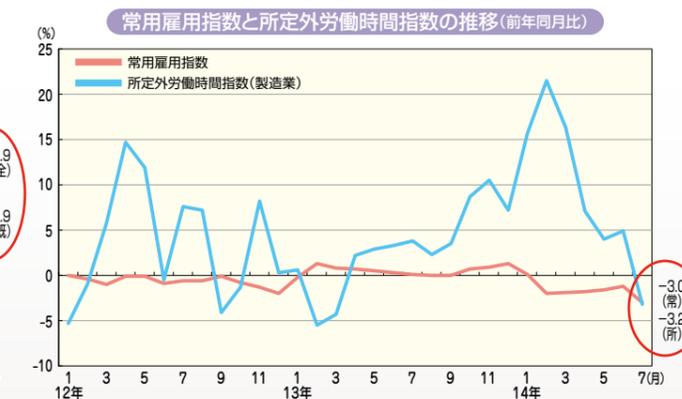
8月の「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」をみると、「普通乗用車(3ナンバー車)」が5か月連続のマイナスとなっているのに加え(1,285台、前年同月比-1.2%)、「小型乗用車(5ナンバー車)」も3か月ぶりに前年を下回ったため(1,066台、同-7.7%)、2車種合計では前月に続きマイナスとなり(2,351台、同-4.2%)、引き続き反動減の影響がみられる。また、「軽乗用車」は13か月ぶりの大幅のマイナスとなった(1,550台、同-15.8%)。今まで消費増税の影響は軽微にとどまり、比較的好調に推移していたが、ここにきて息切れ感が出てきたものとみられる。



所定外労働時間指数は16か月ぶりのマイナス

8月の「新規求人人数(パートを含む)」は7,778人(前年同月比+0.2%)で、23か月連続のプラスとなり、一方、「新規求職者数(同)」は5,314人(同-10.4%)と13か月連続のマイナスとなっている。「新規求人倍率(パートを含む、季節調整済値)」は1.36倍(前月差-0.07ポイント)となり、引き続き1倍を大きく上回っているものの、4月(1.53倍)をピークに低下している。「有効求人倍率(同)」も0.97倍(前月と同じ)となり、3か月連続で1倍を下回っている。

7月の「常用雇用指数(事業所規模30人以上、2010年=100)」は98.4、同-3.0%で、6か月連続で前年を下回っている。また、「製造業の所定外労働時間時間指数(同)」は115.0、同-3.2%で、16か月ぶりのマイナスとなった。



- 晴れ
- 晴れ一時曇り
- 曇り
- 曇り一時雨
- 雨

- 上昇・好転
- 横ばい
- 下降・悪化

5割以上の企業で不足感

Text by ししがん経済文化センター 吉川 友

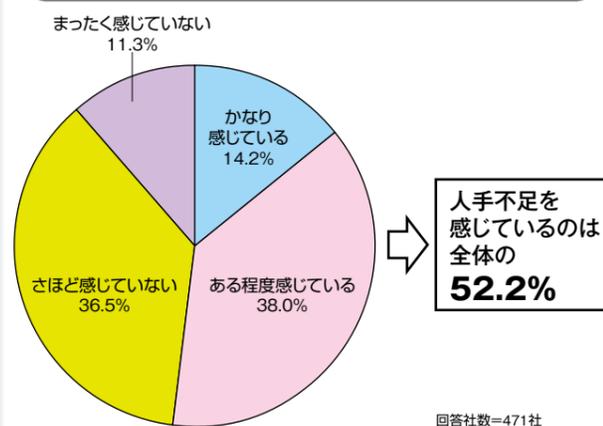
大企業を中心に企業業績の回復が進むなか、全国的に「人手不足」が大きな経営課題となっている。当社では県内企業の人員の過不足感を把握するため、「滋賀県内企業動向調査(2014年7-9月期)」の特別項目として調査を行った。この結果、5割以上の企業で人員の不足感があることが分かった。

【調査の概要】
 ●調査名:「滋賀県内企業動向調査(特別項目)」
 ●調査時期:2014年8月11日~29日
 ●調査方法:郵送による配布、回収
 ●調査対象先:滋賀県内に本社を置く企業
 または県外からの進出企業 940社
 ●有効回答数:471社(有効回答率50.1%)
 うち製造業: 206社(有効回答数の構成比 43.7%)
 うち建設業: 77社(有効回答数の構成比 16.3%)
 うち非製造業:188社(有効回答数の構成比 39.9%)

人手不足を感じている企業は5割を超える

「現状で人手不足を感じているか」をたずねたところ、「かなり感じている」は14.2%で、「ある程度感じている」(38.0%)と合計した「人手不足を感じている」企業は52.2%と、5割を超えた。「さほど感じていない」は36.5%、「まったく感じていない」は11.3%となった(図1)。

図1 現状で人手不足を感じているか

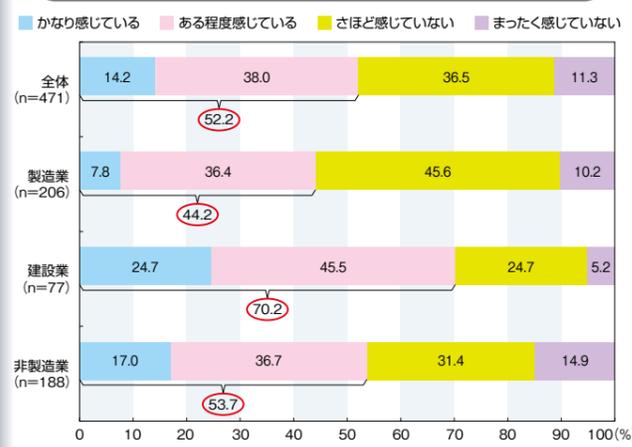


業種別では建設業でもっとも不足感

「人手不足を感じている」割合は、製造業で44.2%、建設業で70.2%、非製造業で53.7%となった。建設業では7割を超える結果となった(図2)。

業種別に詳しくみると、「人手不足を感じている」企業は、建設で70.2%、運輸通信で68.8%、サービスで67.9%、食料品で63.6%、精密機械で60.0%、その他非製造で60.0%と、21業種中

図2 現状で人手不足を感じているか(業種別)



6業種で6割を超える結果となった。また5割を超えた企業は21業種中10業種となった。

女性・シニアが働きやすい環境整備を望む声が多数

「労働力不足を解消するために、どのような政策を期待するか」とたずねたところ、「女性が働きやすい環境整備」が50.9%、「シニアが働きやすい環境整備」が46.2%と、女性・シニアの労働力に期待する声が多数見受けられた。

業種別に特徴をみると、製造業では「外国人労働者の受け入れ」(23.7%)とする回答が多く、建設業では「シニアが働きやすい環境整備」(56.1%)、非製造業では「女性が働きやすい環境整備」(59.9%)を望む声が多かった(図3)。

「指導的地位」に女性が占める割合は「1割未満」が8割を超える

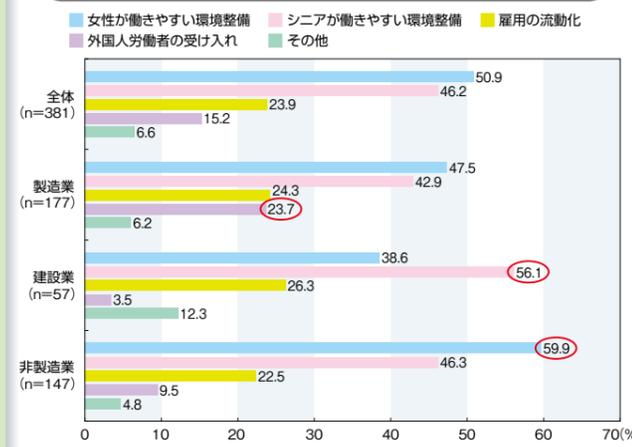
「女性の割合」についてたずねたところ、指導的地位(管理職)に女性が占める割合が、2020年の政府目標である「3割以上」と回答した企業は全体の7.9%に留まった。「1割未満」とする企業は81.5%と、8割を超える結果となった(図4)。

業種別にみると、指導的地位(管理職)に女性が占める割合が「1割未満」とする企業は、製造業で90.0%、建設業で80.7%、非製造業72.3%と、特に製造業で女性の管理職の割合が低い結果となった。

人材不足解消の鍵は女性・シニア・外国人労働者

「現在の雇用人員」について自由に意見を求めたところ、女性・シニア・外国人労働者の活用について多くの意見があり、労働力不足解消の鍵と考えているようだ。一方で、寄せられた意見の多

図3 労働力不足を解消するための政策(業種別)



数は、女性・シニア・外国人労働者の活用に関する弊害についてであり、本格的な活用にはまだ時間がかかりそうだ。

雇用人員に関する意見(業種別、抜粋)

- 【製造業】**
- ・工事現場、組立型工場を含む現場型の企業であり、これまで女性社員比率は低かったが、少しずつでも女性の新卒採用を増やしていきたいと考えている。(輸送機械)
 - ・外国人労働者の受け入れを早期に実施しないと、中小零細企業の製造業は成り立たなくなると考える。(繊維)
 - ・大手取引先の加工費単価が上がらず、賃金ベースが低い人材の確保が難しい。(木材・木製品)
 - ・保育所等の整備をして女性が働きやすい環境を作るだけでも人手不足は解消できると思う。(その他の製造)
- 【建設業】**
- ・女性のコストパフォーマンスが著しく高いと思う。さまざまな分野で女性活用を考えていきたい。
 - ・一般職、単純労働者の雇用の希望率は満たしているが、国家資格を必要とする技術者不足は業界にとって死活問題である。技術者の要件の緩和が必要。
 - ・外国人労働者に関して、現在は研修生として3年間しか滞在できない。技能を要する作業については覚えたころに辞めてしまう。規制緩和をして、もう少し長く滞在できるようにする必要がある。
 - ・女性の積極的な雇用を行いたい。今まで女性がなかった職種においては、人材を育てる環境が整っていないため、採用しても長続きしない。社内環境を整えることに難しさを感じている。
- 【非製造業】**
- ・女性活用と外国人研修制度による労働者活用についてはすでに実施済。貴重な戦力と考えている。(不動産)
 - ・少子高齢化社会で労働力を確保するには年代別の対策が必要。ワークライフバランス(仕事と生活の調和)を念頭に置いた人材育成制度の拡充が必要。(サービス)
 - ・中小企業では女性の出産育児に対応できる人員確保能力に厳しい面がある。(卸売)
 - ・企業に有用な人員を安定して確保するためには、賃金や休日等の労働条件を改善することが強く求められているが、経費削減のバランスを取ることが必要であり、具体的に進めることへの社内の抵抗が大きい。(卸売)

本調査結果の詳細を、当社ホームページ「滋賀ビジネスレポート」にて掲載予定。
URL: <http://www.keibun.co.jp>

図4 女性の割合(全体)

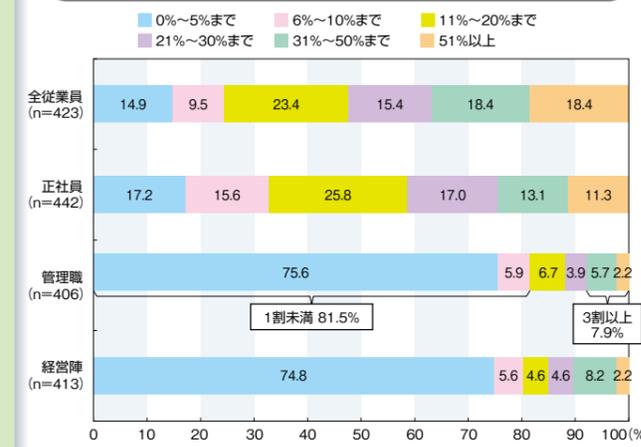


Table with columns for 項目 (Item), 年月 (Year/Month), 生産 (Production), 出荷 (Export), 製品在庫 (Inventory), 消費者物価指数 (CPI), 大津市勤労者世帯 (Tsuji City Workers), 大型小売店販売額 (Large Retail Sales).

Table with columns for 項目 (Item), 年月 (Year/Month), 生産 (Production), 出荷 (Export), 製品在庫 (Inventory), 消費者物価指数 (CPI), 全国勤労者世帯 (All Japan Workers), 大型小売店販売額 (Large Retail Sales).

Table with columns for 項目 (Item), 年月 (Year/Month), 乗用車新車登録台数 (乗車登録台数), 民間非居住用建築物着工床面積 (民間非居住用建築物着工床面積), 新設住宅着工 (新設住宅着工), 公共工事請負金額 (公共工事請負金額), 求人倍率 (求人倍率), 雇用保険受給者数 (雇用保険受給者数).

Table with columns for 項目 (Item), 年月 (Year/Month), 乗用車新車登録台数 (乗車登録台数), 機械受注額 (機械受注額), 建設工事受注額 (建設工事受注額), 民間非居住用建築物着工床面積 (民間非居住用建築物着工床面積), 新設住宅着工 (新設住宅着工), 公共工事請負金額 (公共工事請負金額), 求人倍率 (求人倍率), 完全失業率 (完全失業率).

Table with columns for 項目 (Item), 年月 (Year/Month), 常用雇用指数 (常用雇用指数), 所定外労働時間指数 (所定外労働時間指数), 常用労働者の賃金指数 (常用労働者の賃金指数), 企業倒産 (企業倒産), 手形交換高 (手形交換高), 不渡手形発生高 (不渡手形発生高), 銀行取引停止処分 (銀行取引停止処分), 業況判断DI (業況判断DI).

Table with columns for 項目 (Item), 年月 (Year/Month), 常用雇用指数 (常用雇用指数), 所定外労働時間指数 (所定外労働時間指数), 常用労働者の賃金指数 (常用労働者の賃金指数), 貿易 (貿易), 経常収支 (経常収支), 円相場 (円相場), 日経平均株価 (日経平均株価), 長期プライムレート (長期プライムレート), M2 (平残), 業況判断DI (業況判断DI).

Section titled '今月の注目データ' (This month's注目 data) with text and a line graph showing '民間非居住用建築物着工床面積(3業用計)の推移(前年比)' (Trend of non-residential building construction area by 3-sector count, year-on-year %).

- List of footnotes (注) explaining symbols like P (preliminary), R (revised), and symbols for increase/decrease, and defining various economic indicators.



滋賀銀行 常務取締役
林 一義

「グリーン・オーシャン」

自然との一体感に魅せられ、40年以上セーリング(ヨット)を続けていますが、海が荒れると大自然の脅威を実感します。

特に、風の力だけで走るヨットは、いくら天候が荒れようともすぐには引き返すことができず自力で耐えなければなりません。その時に備え、操船技術を磨き、装備をメンテナンスし、気象や海象を理解するなど、安全に航海するための技能や知識・心構えを習得する必要があります。これが、いわゆる「シーマンシップ」であり、一面では「リスク管理」とも言えます。

「リスク」の語源は大航海時代にまでさかのぼり、「勇気を持って試みる」という意味があるそうです。リスクがあるからやめるのではなく、リスクを想定しそれに対応できる備え(リスクコントロール)

をして航海に出ることが重要なのです。

さて、ビジネスの世界では、企業は競争の激しい既存市場「レッド・オーシャン」から脱するため、競争のない未開拓市場「ブルー・オーシャン」へ向けた不断のリスクテイクが必要とされます。

さらに昨今では、地球環境に対する危機意識の高まりから、消費者の価値観やライフスタイルも変わりつつあり、加えて「企業の社会的責任(CSR)」もより高い次元で求められることより、「四方よし(売り手・買い手・世間・地球)」の「グリーン・オーシャン」とも言われる新たな市場の創造・開拓が急務となっています。

知恵と勇気をもって、「グリーン・オーシャン」に向けた順風満帆の船出が期待されます。

県内データ
あれこれ

● 産業別データ～平成24年経済センサス活動調査より～

滋賀県内のスポーツ産業の市場規模は、300億円超

国体開催で高まるスポーツ機運と関連産業の活性化に期待

6年後の東京五輪では、数十兆円規模での経済波及効果が発生すると期待されている。県内でも来年の高校総体や2024年の国体など、大規模なスポーツイベントが開催されることとなり、これからの動向に注目が集まる。そこで今回は、総務省の「経済センサス活動調査」から、主なスポーツ産業の市場規模についてみてみたい。

滋賀県内のスポーツ産業(4産業合計)の年間売上高は333億円で、全国の同2.6兆円の約1.3%を占めている。このうち最も規模が大きいのは、ゴルフ場やフィットネスクラブなどの「スポーツ施設提供業」で、210億円に上る。次いで、「スポーツ用品小売業」(105億円)、スイミン

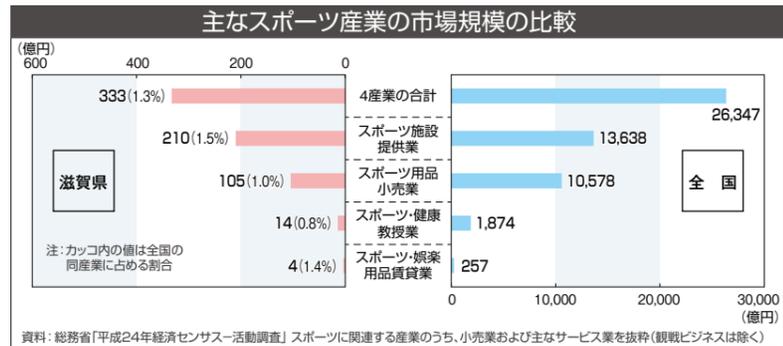
グスクールなどの「スポーツ・健康教授業」(14億円)、「スポーツ・娯楽用品賃貸業」(4億円)が続く。

過去、大規模なスポーツイベントが開

催されるたびに、一時的ではあるものの参加人口が増加してきた。10年後の国体に向けて、県内のスポーツ産業には大きな商機が到来することになるだろう。

スポーツへの機運の高まりとともに関連産業が活性化し、県内景気への刺激となることに期待したい。

(株)しがぎん経済文化センター 中村 雅臣



《イチ押し! pick up》

会社DATA 有限会社満田製茶

- 本社/滋賀県蒲生郡日野町西大路2121
- 設立/1990(平成2)年
- 代表/満田久樹
- 従業員数/6名
- 事業内容/お茶の栽培・製造・卸・小売
- 問い合わせ先/TEL:0748-52-0277
- URL/http://www.mitsuda-cha.com/

日野川のほとりで栽培された「やぶきた茶」と「伝統の在来茶」

日野川の清らかな水で育まれた土地は、お茶の栽培に最適だ。日野町で生産されるお茶が「朝日山」と称されるのは、350年余前に日野町のお茶を朝廷に献上した際、その味を賞賛され「朝日山」との勅号を賜ったからといわれている。その日野町で一貫して無農薬栽培を続けているのが、創業84年の有限会社満田製茶だ。農薬や除草剤は一切使用せず、漁場から直接取り寄せた魚肥と採種油かすを主な肥料にして、安心安全なお茶を提供している。

今回のイチ押しは、「食の3重丸セレクション」を受賞した特別栽培茶の「伝統の在来茶」と「やぶきた茶」。自園栽培した生葉を一晚寝かせて微妙な発酵過程を加え、香りを引き立たせている。「やぶきた茶」は、全国で一番生産量が多いなじみ深いお茶。「伝統の在来茶」はやさしい喉ごしと飲みやすさが魅力で昔から栽培されてきたが、最近では手間がかかるため稀少なお茶になっている。この2つのシリーズには、粉末茶、アミノ酸含有のギャバロン茶など、種類も豊富にそろっている。

※特別栽培茶/農林水産省の「特別栽培農産物」ガイドラインに基づき、農薬、化学肥料を使用せずに栽培したもの
※食の3重丸セレクション/(財)雑質技術研究所が主催し、独自の基準をクリアした製品に賞を授与して食料自給率の向上、環境負荷低減、食品の安全安心を目指す

SHIGAGIN TOPICS

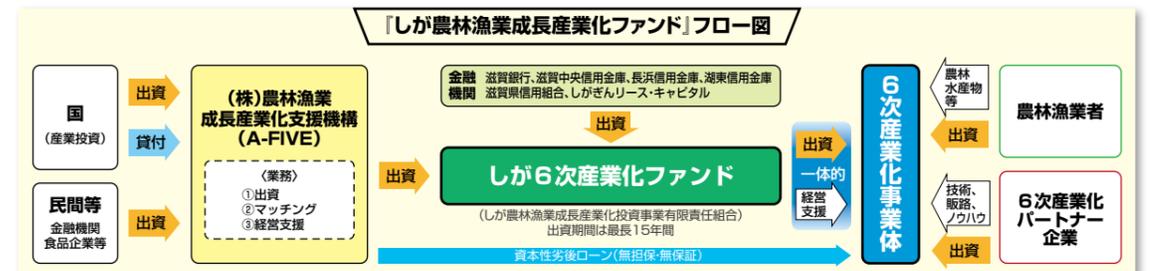


「しが農林漁業成長産業化ファンド」を設立 ～地元金融機関と連携し6次産業化をサポート～

当行は9月25日、滋賀中央信用金庫、長浜信用金庫、湖東信用金庫、滋賀県信用組合、株式会社農林漁業成長産業化支援機構、しがぎんリース・キャピタル株式会社と共同で、6次産業化をサポートするファンド「しが農林漁業成長産業化投資事業有限責任組合」を設立しました。本組合の設立目的は、6次産業化に取り組むお取引先への出資とともに、新たな加工や流通につながる農林漁業の生産性向上などに向けた総合的なサポートを行うことです。

投資対象は、農林漁業者(1次産業者)と2次、3次産業の事業者が共同で設立する6次産業化事業体です。詳しくはお取引店の担当者までお問い合わせください。
当行は、滋賀県を中心とした農林漁業の成長産業化により、地域経済の活性化に引き続き努めてまいります。

※6次産業化:1次産業である農林漁業者が生産だけにとどまらず、加工・流通・販売や地域資源を生かしたサービスなど、2次(製造業)、3次(サービス業)産業にも取り組むこと。



『しがぎん』 マネーセミナー

すぐに
役立つ

平成26年

12月7日 日

10:00～12:00 (開場9:30)

大津プリンスホテル
プリンスホール

〒520-8520 滋賀県大津市におの浜4-7-7

※駐車場は台数に限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。

■JR大津駅から無料シャトルバスで平常時約10分

■JR膳所駅・京阪膳所駅から徒歩20分

無料 先着**300名**

お申し込みは、お近くの『しがぎん』窓口にお問い合わせください。

※お申込後、ご参加いただける方に『しがぎん』より「ご案内ハガキ」を郵送させていただきます。(11月下旬を予定)

※ご来場の際、「ご案内ハガキ」をご提示ください。

第1部
10:00～11:30

夢をかなえる貯蓄・運用講座
～賢く貯めて、上手に運用～

講師 丸山 晴美氏

第2部
11:30～12:00

NISAを活用した投資手法

講師 日興アセットマネジメント株式会社

（セミナー後に金融商品等のご提案・勧誘をさせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください）

Money Seminar

丸山 晴美氏をお招きし、お金について
わかりやすく講演していただきます。
お金の貯め方・増やし方を学び、豊かで
明るい将来を考えてみませんか？
ぜひ今後のライフプランに
お役立てください。



講演

ファイナンシャルプランナー・消費生活アドバイザー・節約アドバイザー

丸山 晴美 まるやま はるみ HARUMI MARUYAMA

旅行代理店、コンビニ店長などを経て、2001年からマネーの専門家としてTV、雑誌等で幅広く活動している。自身の経験をもとにした、初心者にもわかりやすいマネー術に定評あり。雑誌「steady.」の人気連載「教えて！お金のコト」の監修も務める。

著書に「steady.特別編集 教えて！お金の基本」(宝島社)、「お金の増やし方」(監修、宝島社)など。

公式HP <http://www.maruyama-harumi.com>

携帯サイト「丸山晴美の楽トク☆100万マネーなび」

投資信託についてのご留意事項

●投資信託は、預金保険の対象ではありません。●投資信託は金融機関の預金とは異なり、元本および利息の保証はありません。●投資信託の基準価額は、組入れ有価証券等の値動きにより変動するため、お受取金額が投資元本を割込むリスクがあります。外貨建資産に投資するものには、この他に通貨の価格変動により基準価額が変動するため、お受取金額が投資元本を割込むリスクがあります。これらのリスクはお客様ご自身が負担することとなります。●投資信託は、ご購入時等に各種手数料等がかかります。(お申込手数料(お申込代金の最大3.78%〔税込〕)+運用管理費用(信託報酬)(純資産総額に対し最大年率2.376%〔税込〕)+信託財産留保額(換金時の基準価額の最大0.5%))その他に、監査報酬や有価証券売買時の売買委託手数料、組入資産の保管等に要する諸費用を間接的にご負担いただきます。なお、売買委託手数料などは、保有期間や運用の状況などに応じて異なり、あらかじめ見積もることができないため表示することができません。詳細は各商品の「目論見書」「目論見書補完書面」等でご確認ください。投資信託のご購入総額にはお申込手数料およびお申込手数料にかかる消費税を含みます。●投資信託のご購入に際しては、必ず最新の「目論見書」「目論見書補完書面」等により商品内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。「目論見書」「目論見書補完書面」等は滋賀銀行のホームページならびに本支店等にご用意しています。ただし、『しがぎん』ネット投信専用ファンドの「目論見書」等は窓口にご用意しておりません。●ご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。●投資信託は各運用会社が設定・運用を行っているもので、当行ではお申込みの取扱い等を行っています。●当資料は滋賀銀行が作成したもので、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、取引の勧誘を目的としたものではありません。

◎当行は登録金融機関業務関連におけるお客さまからの苦情および紛争の解決を図るにあたり、以下の機関等を利用します。

■特定非営利活動法人 証券・金融商品あつせん相談センター 電話番号 0120-64-5005 ■一般社団法人全国銀行協会 全国銀行協会相談室 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772
商号/株式会社滋賀銀行 登録金融機関/近畿財務局長(登金)第11号 所属協会/日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会



滋賀銀行

日興アセットマネジメント

かけはし
●かけはし通巻253号●平成26年11月号●毎月1回発行
●発行/株式会社滋賀銀行●企画/編集/株式会社しがぎん経済文化センター
URL: <http://www.keibun.co.jp/>

52000041 大津市浜町1番38号 077-5260005 FAX 077-5263838